

■ワークショップ(第2部)

前田教授あいさつのあと、まず京都府土木事務所 災害対策室 東井室長から大手川河川改修事業について説明いただきました。その後、河合准教授から空間デザイナーの立場からアイデアの出し方について説明いただき、前田教授からブレインストーミング(アイデア発想法のひとつ)のルールと考え方のヒントについて説明いただき、3班に分かれてワークショップが行われました。



○土木事務所 東井室長から大手川河川改修事業概要説明

平成16年10月20日に発生した台風23号により、2,400棟を超える家屋が床上・床下浸水等の被害を受け、約5年間の期間で大規模な河川改修工事を実施。下流域においては、城壁の復元事業の一環として桜の木を植える桜並木の構想もあるとの説明をしていただきました。



○河合淳教授説明

宮津の生活の中で大事にしていること、宮津の景観、自然、眺め、歴史、文化などかけがえのないものは何か、1日での広場での過ごし方、何を体験したいのかなど空間デザイナーの立場からアイデアの引き出し方を説明いただきました。



○ワークショップの様子

現地説明や河合淳教授のアドバイスを踏まえ、アイデアをふせんに記入し、当日準備しました図面や模造紙に貼り付けていきました。参加者全員、大手川ふれあい広場でどのように過ごしたいか、大手川やカトリック宮津教会などの周囲の景観と関連して広場に何が必要か、植栽やイベント開催など多彩なアイデアが出されました。

1班



2班



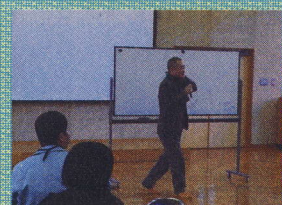
3班



他にもたくさんアイデアが出されました

○主なアイデア

- ・広場に必要なもの  
トイレ、災害時対応型のベンチ、喫茶店や売店、ミツバツツジ、桔梗、桜、柳並木、ガラシャをイメージするもの、武家屋敷の復活、船着場など
- ・広場で何をしたいか  
コンサート、花見、ライトアップ、燈籠流し、散歩、川遊びなど
- ・広場周辺  
教会を含めた周囲の歴史を価値を大切にする  
細川ガラシャが住んでいたと言われる桜山公園(大久保山城跡)の整備など



○総評

活発な協議ができました。いろいろな会が集まり議論できたことは大変有意義なものでした。これからもやっていかなければなりません。できるだけいい広場にしていきたいと考えています。次回は、今回のアイデアをまとめたものを絵にしていけるので、それを皆様に投げかけてみたい。

○今後のスケジュール

- 第2回懇談会  
3月26日(木)・ワークショップ
- 第3回懇談会  
4月下旬・報告会

■天橋立ビューランドが景観に配慮したモノレールを新設しました

昨年12月、同施設がある文珠地区において、京都府の景観アドバイザー制度を活用した「地区の色彩を考える学習会」を開催しました。この学習会において、色彩の専門家からアドバイスをいただき、その後、宮津市や土木事務所と協議を重ね色彩の計画をたて、平成21年3月14日(土)、天橋立周辺地域景観計画の景観基準に適合した色彩のモノレールが新設オープンされました。前日の13日に記念式典が開催され、安全祈願、テープカットなど行われた後、関係者に対して試乗会が行われました。今後、景観に配慮したリフトについても、新設していきます。



発行元

【事務局】

■宮津市 建設室 都市整備係 電話:0772-22-2121(代表)

<http://www.city.miyazu.kyoto.jp/>

この景観まちづくり通信は、景観からのまちづくりを推進するため、市民協働で進める取組等に関わる情報の共有を図ることを目的に発行していきます。